

# Coverage of Dr. Korotkov

生体工学レポート

2010年4月12日(月)

「生体工学レポート」の企画上からして、これにて、上の方から人間は、生命活動を行う「ワー」のことで、この「ワー」が「生体工学」の中心となる。つまり、生体工学の中心となるのは、生物学的な知見と工学の知見の融合にある。生物学的な知見は、生物学者や動物学者の専門的な知識から得られ、工学的な知見は、工学の専門的な知識から得られる。したがって、生体工学は、生物学的な知見と工学的な知見の融合によって成り立つ。生体工学は、生物学的な知見と工学的な知見の融合によって成り立つ。



この「生体工学レポート」の「ワー」が存在するのだから、「生体工学」は、生物学的な知見と工学的な知見の融合によって成り立つ。つまり、生体工学の中心となるのは、生物学的な知見と工学的な知見の融合にある。生物学的な知見は、生物学者や動物学者の専門的な知識から得られ、工学的な知見は、工学の専門的な知識から得られる。したがって、生体工学は、生物学的な知見と工学的な知見の融合によって成り立つ。



「AVEDA」は、指の電圧を感知している電子。つまり、指の電圧を感知する電子を感知する装置の出力を測定することで検出する。指の電圧を感知する装置は、指の電圧を感知する装置の出力を測定することで検出する。指の電圧を感知する装置は、指の電圧を感知する装置の出力を測定することで検出する。



「指の電圧を感知する装置」は、指の電圧を感知する装置の出力を測定することで検出する。指の電圧を感知する装置は、指の電圧を感知する装置の出力を測定することで検出する。指の電圧を感知する装置は、指の電圧を感知する装置の出力を測定することで検出する。



この「指の電圧を感知する装置」は、指の電圧を感知する装置の出力を測定することで検出する。指の電圧を感知する装置は、指の電圧を感知する装置の出力を測定することで検出する。指の電圧を感知する装置は、指の電圧を感知する装置の出力を測定することで検出する。

「指の電圧を感知する装置」は、指の電圧を感知する装置の出力を測定することで検出する。指の電圧を感知する装置は、指の電圧を感知する装置の出力を測定することで検出する。指の電圧を感知する装置は、指の電圧を感知する装置の出力を測定することで検出する。

Web: ELLE Online  
Issue date: 2010/04/12

人体エネルギーの視覚化に成功  
コンスタンチン・コロトコフ氏インタビュー

岡野寧子



去る3月、GDV (Gas Discharge Visualization = 気体放電視覚化技術) <sup>※1</sup>に基づいた人体エネルギー測定機器の開発を行うコンスタンチン・コロトコフ氏が来日した。

Санктペテルブルグ国立情報技術・機械工学・光学研究所のコンピューター科学と生物物理学の教授であり、同国立体育学研究所副所長、米国アヴェダ社のコンサルタントを務める氏は、若き日からキルリアン効果の研究に没頭する。「不思議で美しい写真」にすぎなかったキルリアン効果 <sup>※2</sup>に最新の光学技術を取り入れることで、生体の潜在エネルギーと環境への適応性を視覚化、数値化することに成功。17の特許を取得した。

GDVはロシア政府から医療機器として認定されている他、ヨーロッパ、インドでも認証を得て、現在1,000人以上の医師やセラピスト、研究者が現場で活用している。科学の様々な分野からアプローチが試みられ、世界各国で発表された論文は200本以上。

測定は短時間でなされ(測定前の安寝を含めて30分弱)、非侵襲(測定時に身体を傷つけることがないので測定被験者への負担が少なく、何度も測定することが可能)、低コスト。科学的根拠に基づいた再現性のあるデータを得ることが出来るという。

詳しいお話を伺ってみました。  
一キルリアン効果からGDVが生まれた経緯を教えてください。

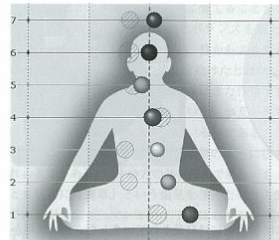
コロトコフ氏(以下敬称略):キルリアン効果自

体は18世紀には発見されていました。当時とは何かスピリチュアルな発光、という漠然とした認識だったと思います。人間も光るけれどそれは聖人だけとか(笑)、あまり科学的な探求はなされていなかったのです。

しかし私の時代にはすべての生体は光子を発していると分かってきました。ならばキルリアン効果の放電技術を応用し、高周波電場内で生体表面に微弱にある電子や光子の移動を誘発(増幅)させればどんな生体のエネルギー(電子や光子)も視覚化出来る。そう考えて開発したのがGDVです。機器の開発に本格的に着手したのはソビエト連邦崩壊後ですが、理論はそれ以前からほぼ整っていました。

電子や光子は人間の健康、心理状態を反映しますから、得られた映像を見ることで、医療や美容面で有益な情報を得ることが出来ます。95年に開発が成功していますが、以降多くの先進的な医療機関やセラピーの場面で使用され続けています。

実際の例として…アヴェダ社ではこのGDVを使って開発した、各チャクラ <sup>※3</sup>に対応したアロマミストを販売しています。GDVで人体エネルギーを精査し不活性化チャクラを特定しておけば、その人はそのチャクラに対応するミストを使用することで心身のバランスを整えることが出来ます。セラピストも特にどこに注意を払えばいいか一目瞭然ですし、カウンセリングの参考にもなるでしょう。無駄のない施術が可能となります。一身体エネルギーを測定する際、チャクラに注目



チャクラの図。当初活性化しているチャクラは濃い円の場合であったが、第二チャクラ用のブレンド精油を嗅いだ後、濃い円の場所へ移動している。

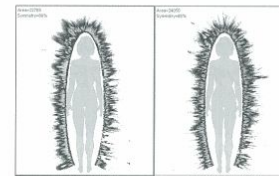
したのは何故ですか。

コロトコフ:98年にインドの代替医療の会議に出席しました。そこで現地のアールヴェーダ医師達から、是非チャクラの測定をするように勧められたのです。すぐにプロジェクトを立ち上げ研究したところ、チャクラが人体エネルギーの大きなポイントに違いないと分かりました。

GDVでは全身の状態をくまなく視覚化出来ますが、チャクラにはそれぞれ性質がありますから、一つ一つの状態を知ることにより明快な情報が得られるというメリットがあります。

例えば第一チャクラが身体のセンターラインからかなりずれているとしたら、ここは土台となるチャクラですから心身の安定を欠き、仕事などにフォーカスする力が湧いてこない可能性があります。ヨガや瞑想を助めてあげてもいいですし、オリバナムやパチュリというどっしりして不安を鎮めるアロマを使うのもいい…ということが瞬時に分かるのです。

第二チャクラの活性にはサンダルウッドやオレンジ、ゼラニウム。第三チャクラにはラベンダー、レモン、バルサムモミ。第四チャクラはサンダルウッド、バルローザ、マンダリン。第五チャクラはグレープフルーツ、イランイラン、ローズマリー。第六チャクラはゼラニウム、オレンジ、ブ



エネルギーフィールドの図。精油を嗅ぐ前(左)と後(右)。後の方が活性化しているが、どちらも怪我をした部分だけエネルギーが極端に少なくなっている。

チグレン。第七チャクラはエレミ、オリバナム、アンジェリカルート。アヴェダではこれらを中心にしたアロマブレンドを使っています。

ちなみにGDVは人体だけでなくすべての生体のエネルギーを測定できます。ですから植物や動物も、その潜在的なパワーを数値化できるのです。つまりこれまで判断が曖昧になりがちだったオーガニック製品の価値判断も明快に行えます。合成された精油とオーガニックのものでは数値がまったく異なるからです。もちろん治療に使うにはポテンシャルの高い精油を使うに越したことはありませんね。

—GDVはこれからどのような分野で使われていくのでしょうか。

コロトコフ:今後ますます多くの国で利用されるでしょう。日本でも普及することを願っています。

このデータは専門知識のある人が読み取れば、臓器の診断にも使えるものです。現在の状態、そしてそうなるに至った原因を推測できます。ガンなどの病気の状態をリアルタイムで測定し、患者に最適な治療法を提示することも可能です。

医学、心理学、生物物理学、遺伝子工学、生態学、芸術療法など多方面の応用も始まったばかりで、その成果が楽しみなことです。



記者もGDVを体験させて頂いたが、機器に十指を順々に置いていくだけという簡便さには驚かされた。数日前に転び、左足を怪我したこともしっ



被験者は次に指を乗せるだけで、全身のエネルギー状態が計測できる。

かりと画像に現れている。常に科学的手法と生命に対する畏敬の念を組み合わせるという博士の研究に、これからも注目していきたい。

- ※1 GDVについてのお問い合わせ先  
黎明株式会社  
京都市中京区壬生西柳町17  
Tel:075-321-3620 E-mail: gdv@reimeitv  
http://www.gdv.jp/
- ※2 1930年代、ロシアの研究者キルリアン夫妻が発見したことで有名になった、高周波電磁場により生物の周囲に生じる発光現象。
- ※3 チャクラ サンسكريट語で車輪を意味し、不可視の人体のエネルギーポイント。その数は無数にあるとも言われるが、代表的なものでは椎骨近から頭頂までの7つと言われている。

**プロフィール**  
Yasuko Okano  
岡野寧子

ライター、バチカン国際教育プログラムレベルを修了、JAMA-JA 認定(一)のセラピスト、日本ホリスティック医学協会認定生活習慣病予防士。



Trade Magazine : aromatopia  
No.100  
Issue date: 2010/05/28  
Circulation: 10,000

**02**  
**SMALL TALK**  
 with NEW TRAVELERS

——博士が開発したG D V (Gas Discharge Visualization = ガス発散視覚化技術)とは？

K 10本の指先から、その人の身体のそれぞれの部位のエネルギーレベルを測定する機器です。神経系や臓器など全てにエネルギーフィールドがあり、測定したその場で身体のどこからエネルギーが出ていないかわかるんです。インドでは約100のアーユルヴェーダの医者がこの機器を使って診療を行っていますよ。

——アヴェタのチャクラミストの開発では、どのような実験を？

K G D Vでは植物や液体のエネルギーも測定できるため、まず様々なアロマのエネルギーレベルを調べ、それが人にどんな影響を及ぼすのか実験しました。大きな箱みたいな部屋に入った被験者に、アロマを入れたマスクをしてもらって反応を見ると、年齢や性別、住んでいる場所、教育レベルやIQによって好きなアロマがかわれました。好まれるアロマは健康状態とも関係性が高く、うまく香りがかからないときは身体のどこかに疾患を抱えていた。また、バランスが崩れたチャクラ（尾てい骨から頭頂まで背骨を中心に7つあるエネルギーポイント）にどのアロマが必要とされているか、アロマを使ってトリートメントを受けるとどうエネルギーレベルが変わるのか測定を重めました。アロマにはその人全体を変えてしまうくらいのパワーがあるんです。

——チャクラミストをより効果的に使うには？

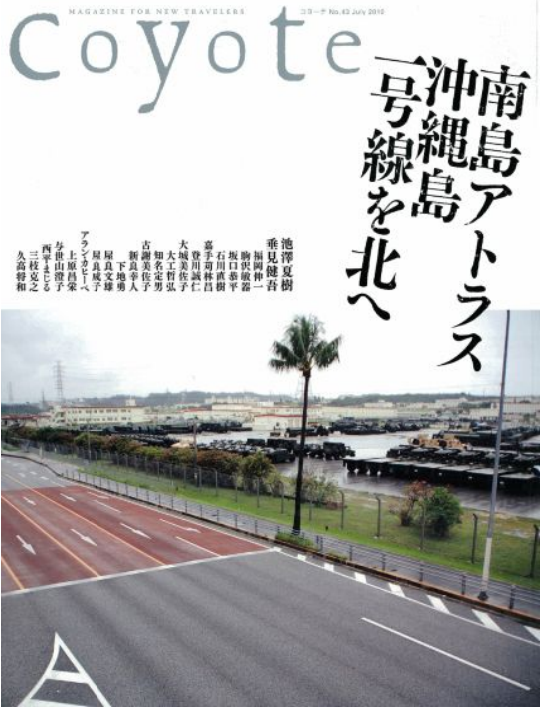
K ほとんどの人の場合、バランスが崩れているチャクラは一つだけではないので、複数の組み合わせをおすすめします。朝起きたら顔の上からはじめて、一日のなかで間を置きながら身体の下にありていくのがいいですね。■

●ロシア在住、サンクトペテルブルグ国立体質学研究所所長、アヴェタ(株)副社長、コンスタンチン・コロトコフ。03年よりチャクラミストシリーズの開発に専念。国内外の会議やワークショップで日々世界中を飛び回る。

**Konstantin Korotkov**  
 コンスタンチン・コロトコフ



「チャクラ  
 パラシシグ ミスト」  
 アヴェダ/各100ml /  
 4,820円(税込)  
 100%植物由来のアロマ  
 ディフューザー。背骨を中心  
 に7つあると考えられる  
 チャクラそれぞれに作用し、  
 心身のバランスを整える。  
 アロマはただ気持ちいいだ  
 けではなく、身体に接触す  
 ることにつながるアヴェダ  
 の人気シリーズ



Subculture Magazine :  
 Coyote July  
 Issue date: 2010/06/10  
 Circulation: 70,000

# 化粧品は単に肌表面のためではなく、体や意識全体にまで作用するもの

コンスタンチン・コロトコフ/アヴェダ コンサルタント、物理学者、生物学者

PROFILE: ロシア出身。セントペテルブルグ国立体育学研究所副所長。これまで物理学・生物学の有力学会誌に計 200 本以上の論文を発表。生物物理学の発明で 17 件の特許を取得。哲学者としての顔を持つほか、登山歴は 25 年以上の本格派



アヴェダの「チャクラ」シリーズに、科学の分野から関わった。1995年に自身が開発し、チャクラシリーズに応用したのが「GDV」と呼ばれるガス発散視覚化技術。人体や植物、液体などの物体を出入りするエネルギーを測定し、可視化する機械だ。

「人間の健康状態を診断するのに応用でき、実際にロシアや欧州では医療機器として認められている。また、運動能力の測定や、意識がどう物質世界に働きかけるかなど、身体的、心理的状態の診断と治療に大きな可能性を秘めている」と語る。

この10年間、アヴェダのコンサルタントとして「コスメは単に肌表面のためではなく、その人の体や意識全体に作用するもの」という考えで、共同研究に携わってきた。調香師が調香したものをGDVで測定することにより、チャクラシリーズの機能性を証明。「私たちのエネルギーレベルは高いときも低いときもあるが、できるだけ適正な位置に持って

くることが大事。チャクラはそれを手助けしてくれるもの」と言う。

さらに、化学組成がたとえ同じでも、合成したオイルと天然由来のエッセンシャルオイルではエネルギーレベルが全く違う。「さらにそれを使う人に及ぼすエネルギーレベル、生理学的な体の変化も全く違う。天然由来の原材料が持つピュアな力だからこそ可能」。

意識の研究にも力を入れ、「化粧品も“意識がどう人に影響を及ぼすか”という分野の一部だと思う。良い製品で手入れをすると、その意識が美を磨く。自分がキレイだと意識することも大事(笑)。使うことでよりハッピーになれるものを開発していきたい」と抱負を語った。



博士が開発に携わったチャクラ バランシング ミスト (全7種)

Magazine: WWD BEAUTY 19<sup>th</sup> Jul  
Issue date: 2010/07/19  
Circulation: 30,000